

保育総合研究会

臨時 News

VOL.20+1 2021. 3. 22

発行人 保育総合研究会 会長 梶沢 幸苗

発行元 事務局長 社会福祉法人 東明会

飯沼こども園 理事長 東ヶ崎静仁

〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼 1276-1

029-292-6868 Fax 029-292-3831

E-mail iinuma-n@ans.co.jp

全国会員数 97名

今後の日程(3/17 速報) 会議は全てオンライン◆3月◇4月☆5月■6月

3月◆次年度以降のプリプリについて⇒令和3年度年(4年度執筆分より)～令和8年度年(9年度執筆分)までの6年分間分の担当執筆者を確定させる。⇒案は別紙参照

令和3年度年(4年度執筆)担当者へは梶沢会長より依頼の電話が参ります。

同 添削者の追加一覧 現在 梶沢・坂崎⇒令和3年度年より(4年度執筆分より)

担当者/0歳福澤紀子/1歳打田修子/2歳保育園園梶沢香澄/2歳こども園梶沢幸苗

/3歳児田和由里子/4歳児矢野理絵/5歳児只野裕子/食育坂崎隆浩/安全遠藤浩平

尚この太字方々にも梶沢先生より依頼の電話が参ります。

## ◆年齢別サポートブック会員価格購入最終日(▲20%)⇒3月31日(水)締め切り

👉**保育サポートブック 2/25 現在 0・1 歳児から 5 歳児クラスの教育指導計画からドキュメンテーションまで改訂版全版**👈

2/25に販売されました 5 冊のサポートブックについては、5 歳児 10 頁に間違いがありましたので、訂正をお願いします。これに付随する内容が 4 月からの日保保育界に登場します。**尚、この本を使用して、6 月 2.3 日に園内研修を行いますので是非予定してください。**

## ◆日保協「保育界」令和 3 年度執筆者原稿最終日⇒3月31日(水)締め切り

※一応 3/18 時点で坂崎来ていない人をお知らせします。

**令和 3 年度保育界の原稿** 全 12 回 **3/31 坂崎まで(絵図等も含め 1800 字数/基本的には「ある調」)**

テーマ『「見通しを持った保育」と「保育の振り返り」を考える』**題名は各自で最終的につけてくださいでお書きください。**

6 月号 3. 栴沢さやか(仮)「3 つの視点と 3 歳未満の 5 領域について」

7 月号 5. 栴沢香澄(仮)「0. 1 歳児の指導計画の考え方」

8 月号 7. 東口(仮)「2 歳児の発達と保育環境」

8. 高月(仮)「2 歳児の指導計画をどう考えるべきか」

9 月号 9. 秋山尚子(仮)「2 歳児のドキュメンテーションについて」10 坂崎りき(仮)「3 歳児以上の 5 領域と 10 の姿について」

10 月号 11. 田和(仮)「3 歳児の発達と保育環境」

12. 遠藤浩平(仮)「3 歳児の指導計画について」

12 月号 16. 永田(仮)「4 歳児のドキュメンテーションについて」

1 月号 18. 平山(仮)「5 歳児の指導計画について」2 月号 19. 田中「保育ドキュメンテーションの効果的な活用方法」

4月◇第4回保育科学会議→4月12日(月) 14時 岩橋担当のものです

◇公開保育・質向上認定研修説明会→4月12日(月) 15時30分 全員是非ご覧ください

◇最終三役会及び役員会→三役会 4月15日(木) 13時 役員会 同日 14時30分

◇第1回保育制度研修→4月20日(火) 13時30分 古川担当のものです

◇記念誌等最終確認→4月22日(木) 14時30分 場所:八戸プラザホテル

椀沢・遠藤・東ヶ崎・百瀬・塩坂・菊地・永田・田中・坂崎等で最終確認します。

5月☆令和3年度総会及び第69回定例会

→総会 5月26日(水)13時30分 定例会 15時

※監査は書面決議とする方向である。役員改選後、各種引継ぎをする。

☆「20周年記念誌」「7プロポジション」→5月31日(月)頃/各園それぞれ2冊郵送予定

## 6月 ■「令和3年度園内研修用歳児別サポートブックオンライン研修会」

令和3年6月2日(水)6月3日(木) 13時-16時30分

■下記講師の方々へ⇒4月末に書いていただくレジメを送付します。又、5月中には年齢別に打ち合わせ会を行います。

日時 令和3年6月2日(水)及び3日(木) 2日間×3時間=6時間研修

研修時間 坂崎挨拶+各自20分以内(18分位)×3人=60分

当然ですが、サポートブックを使用しての研修内容(例えば何ページのとか)にさせていただきたいと思います。

日時 令和3年6月2日(水) 13:00-16:30

第1巻/全体 13:00-14:00

椛沢幸/ドキュメンテーションの効用・椛沢さ/3つの視点と未満児の5領域・坂崎り以上児の5領域と10の姿について

第2巻/0・1歳児用 14:15-15:15 福澤/椛沢香澄/青木

第3巻/2歳児用 15:30-16:30 東口/高月/秋山

日時 令和3年6月3日(木) 13:00-16:30

第4巻/3歳児用 13:00-14:00 田和/遠藤浩平/岩橋

第5巻/4歳児用 14:15-15:15 矢野/永田⇒この二人は各自30分

第6巻/5歳児用 15:30-16:30 只野/平山/田中

## 令和 3 年度の行事の大まかな考え方

□2021 年 5 月オンライン総会・定例会～10 月オンライン定例会⇒当分の間、今まで通り

□2021 年 11 月対面定例会・大阪・東京集合研修～2022 年 2 月対面による年次大会

□新 3 部会⇒保育科学は着々と・保育制度は定期的に・ジャミーズは活発に

□新 2 委員会⇒広報は総会から・法人検討は年度後半から活動予定

□「おジャマーズ」⇒ワクチンをうち、対面できたら集合研修としたい。よってほぼ 10 月以降の立ち上げと開催となる。その際に各地区のブロック長を栴沢会長に決めていただき、東ヶ崎より連絡する。

保育総合研究会 公開保育・質向上認定研修会⇒最後の頁で長く説明していますが、

オンラインでの説明をしますので、4 月 12 日の保育科学の後、15 時 30 分から行います。

☆2020年 令和3年度事業予定

P1-5 3/17 会議速報 2021.3-6月/保総研の今後の予定

P7-8 『保総研の歴史 No.20』今後の3部会の役目と部会長の方々

当会 HP アドレス <http://hosouken.dip.jp/hskblog/>

◆令和2年度最終三役会&役員会について

令和3年4月15日(木)三役 13時～・役員 14時30分～

現三役+現役員の方々の多くの方々に参加してもらいたいと思います。

おジャマーズ・「公開保育/質向上特別委員会」等も検討します

P10-保育総合研究会 公開保育・質向上認定研修会について→説明会 4/12

◆ ラスト臨時 News20+1 を広報しました。4月からは坂崎が個人的に又訳の分からないことを  
予定しています。月2回くらいの保育情報をお届けする予定です。ご期待ください。(・・・?)

## 『保総研の歴史 No.20』今さらながら/今後の3部会の役目と部会長について

保育科学は、保総研の調査研究の中心となった事業である。ペセラ(環太平洋保育学会)との関係及び日保協(栴沢はその委員)との関係もあるが、15年目のバリ大会から関わっている。その中心にいたのは、栴沢会長であり、途中から福澤先生らに引き継がれた。そして保育科学を部会にし、その中心となるのが部会長の大分岩橋先生であり、部会長代理の熊本平山先生である。この二人のこれまでの功績は言うに及ばない。岩橋は、この数年歯科関係で全国の優秀賞(正しい呼び名ではないが)を連続して授賞しており、その意欲とともに、科学的取り組みには個人的にも高い評価を受けている。一方、平山の調査・研究に関しては他の追隨を許さない。その意味では、この二人のコンビは相当強力だ。更に、今回の7プロポジションでその才を発揮した鹿児島県の隅崎が組む。コロナ禍の中、厳しい時が沢山あるかとも思う。大分・熊本・鹿児島で何らかの対応を願いたいし、ここには若くて優秀な青木もいるので是非とも素晴らしい研究に精を出していただきたい。皆様も是非とも参加していただければありがたい。ちなみにペセラは2021年がニュージーランド、2022年は香港、23年はインドネシア、24年が東京となっている。将来的にはイーセラ(ヨーロッパ保育学会)にも参加させたいと考えている。

保育制度も部会とした。大きくは今後4年後の平成27年以降の10年目の制度施策変更に対する対策が必要だからだ。しかも早くも令和3年冒頭から大荒れだ。2年度人事院勧告が、少し被害が少なかったことが気のゆるみになっているのかも知れない。本年は定期的にオンラインで報告していきたい。さて、その中心になるのは部会長熊本の古川豊先生である。古川は実はまだまだ若い、平成の一桁代から坂崎と一緒に活動してきた一人だ。彼の生活の中心はマラソンにあるが、熊本だけでなく、保総研でもその力量を存分に発揮してもらいたい。古川のパートナーには、部会長代理に栴沢さやか、そして副部会長に上原、力紀の3人を選んだ。3人の説明は必要ないが、3人とも勉強家だから、古川を助けこの難局をなんとか乗り越えてもらいたい。制度は社会の写し鏡である。

しかし、一方では制度によって人を救えたり、一方では悲しい目にあったりする。どうしたら全ての子どもやその母親たちを次の時代に笑って迎えられるようにしてあげられるかを考えてもらいたい。

部会に格上げするジャミーズのことは割愛するが、部会は前述と合わせて3つになる。大将は高月大明神だ。ここには実質的には2委員会を立ち上げ、広報/高月、法人化/伊東俊樹を配置し、保総研の今後を進めてもらう。更に言うと、もう実質的には正月明けから始まった20周年記念誌等では、菊地渉・東ヶ崎拓樹・田口侑平・勇まりこのジュニアメンバーは事務局として精力的に作業と会議に参加している。さて時を戻そう。こうやってみると部会長の3人は岩橋と古川、そして高月とこちらも九州軍団の雄の方々だ。当分の間、保総研の実質的な動きは南国から発せられると思っていただきたい。

まあここに、たぶん年度の後半だと思うが、「おジャマーズ」がそのうちに結成され、強大な力を持つことになりそうだ。あまり活動範囲が拡大すると部会昇進などという恐ろしい話になるから、静かにやってもらいたいと考えております。更に6年間かけて行う公開保育・質向上認定研修会も並行して行われる。(最後のページご確認ください)

という訳で、新体制が始まる前からドンチャン騒ぎだが、まあ皆さん楽しみながら進めてもらえたら有難い限りである。

[👉「保総研20周年記念誌」最終状況報告します👉👉「7プロポジション」最終状況報告します👉](#)

どちらも5月総会にまにあわせませう。20周年記念誌はオールカラー80ページです。7プロポジションはなんと160ページです。最終担当は塩坂さんと百瀬さんです。御執筆をいただいた多くの人達に感謝申し上げます。

記念誌にも書きましたが、結果的には保総研の外での活動は令和2年度は仙台での会議一回のみとなりました。新年度も前半の10月くらいまではほぼオンラインなので、オンラインで出来るものは10月までやり、それ以降は社会の状況を鑑みて対面や集合による研修も考えようと思っていました。宜しくお願いします。



## 編集誤記

臨時 News はラストの第 20 号+1 を出しました。このあとのページで公開保育・質向上認定研修会について説明していきます。現在、これらに対応しているのが、今 NHK を中心に大騒ぎの団体と他1団体の 2 団体だけです。保育・認定こども園の団体ではまだ無いと思われます。個人的には、これらを保総研版「保育研究機構」として行こうかと考えてもいます。まずは多くの皆さんに参加してもらいたい。そうすることによって多くの保育の研鑽が出来ると信じています。そして臨時 News の 1 年間のご愛顧本当にありがとうございました。

皆様方に心より感謝申し上げます。

未来への責任。良いことをするのは、したたかであるべきである。そして準備が必要だ。根拠の無い自信や「レジリエンス」をもう少し持たないと自分に言い聞かせている。(resilience は「復元力」や「回復力」「弾力」などと訳される言葉です。近年は特に、「困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生きのびる力」を意味する心理学的な用語として使われる。外的な衝撃にも、ぽきっと折れることなく、立ち直ることのできる「しなやかな強さ」のこと)

この広報に対する内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当: 〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35  
保育総合研究会 副会長 坂崎隆浩 携帯: 090-6252-3699  
メール/[kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp](mailto:kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp)  
(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)・

## 保育総合研究会 公開保育・質向上認定研修会(案)

### 第1期(令和3-5年度) 公開保育アンバサダー・プロジェクト

#### (保総研(認定)公開保育アンバサダー認定講習会)

趣旨:新制度開始の平成27年度には、それまでの幼稚園で行われていた学校評価が、幼保連携型認定こども園の登場により施設関係者評価(幼稚園型・保育所型も対象)として公定価格上に位置づけられました。これらに対して、保総研では平成27年及び30年に自己チェックリストを作成し対応できるようにしてきました。令和2年には、公開保育を公定価格上に位置付けられ、公開保育の必要性は更に重要なものになりました。これらに対して保総研としては、公開保育を指導する検証者(公開保育のアドバイザー)の育成を目指して、(仮)保総研(認定)公開保育アンバサダー認定講習会を開催して、公開保育に対しての質向上を図ることを目的として行います。

**◇公開保育・質向上認定研修説明会⇒4月12日(月) 15時30分 全員是非ご覧ください**

※公開保育の方法論と詳細について説明及び話し合いをします。その際坂崎より公開保育イーセックの方法について学びます。対象者は新役員その他⇒研修日時今後決定するが、総会には募集要項等を説明します。

☆第1期(令和3-5年度)・第2期(令和6-8年度)の2期開催し、多くの保総研の会員が公開保育の指導者等になれるように育成する。会費の他、一部保総研で助成金を出す事業とする。

担当指導者➡両代表 梶沢幸苗 ・坂崎隆浩

事務局➡ジャミーズ 菊地渉・東ヶ崎拓樹・田口侑平・勇まりこ+α

最終的➡公開保育指導者保総研認定書を出す

受講内容➡4日間受講 ハードルは高い オンラインの日時は今後講師折衝後に決定

※12時間研修(本年研修)+◇1日自園公開(3年以内)+◆1日仮指導(3年以内)※12時間研修/2日間

※1日目 乳児教育+幼児教育+マネジメント/オンライン 6時間

※2日目 ファシリテーションの技術 公開保育の方法論/オンライン 6時間

講義と演習⇒※補修考える 梶沢・坂崎で 6 時間程

◇本年より 3 年以内/自園公開保育 講師坂崎や梶沢担当/各園負担

◆本年より 3 年以内/他園公開保育指導 同上と一緒に/各園負担

受講料⇒1 万 5 千円(講師料等として使用) ◇◆などの公開保育は実費

講師予定者⇒汐見・北野・矢藤・那須・水落・梶沢・坂崎等⇒今後折衝する

募集人数⇒最低 20 人募集/保総研 2021 役員他 募集して受講者を最低人数以上は確保する

受講者対象者⇒保総研理事長・園長及び会員が推薦する主任等(受講者に関しては会長坂崎もしくは

担当責任者梶沢の了解を得るものとする)

収支 収入/受講者 20 人×15000=30 万円+保総研より助成金 10 万円 計 40 万円

支出/講師謝礼 1 時間 2 万×15 時間=30 万円(外部講師 2 万円内部講師 1 万円)+雑費 10 万円=計 40 万円

◇自園公開保育の講師に対しては次のような別支払いの簡単な規定を後に作成する。▶これらについて今後詳細を詰める

例)旅費宿泊全額+当日謝礼 3 万+移動等日当 1 万円+食事代等各園経費支払いとする。

その他/公開保育アンバサダーの登録

事務局に受講認定書をきれいに作ってもらう。

尚、第 2 期は 3 年後の仕事(令和 6 年-8 年度)